

市政の窓



8月30日、令和3年9月吉野川市議会定例会開会日、原井市長は令和3年度のこれまでの成果と今後の市政運営方針についてその所信を表明し、市民の皆さんや市議会に理解と協力を求めました。要旨は次のとおりです。

新型コロナウイルスワクチン接種の状況

先週末現在（8月27日）、65歳以上の87%を超える方の接種が終了し、全体では、12歳以上の対象者37067人のうち、1回目の接種が終了した方が24644人（66.49%）、2回目の接種が終了した方が19562人（52.78%）となっており、市民の皆さんへの接種は順調に進んでいます。

また、接種希望者の少ない「吉野川市ふるさとセンター」は8月1日、「吉野川市交流センター」は8月8日をもって、同会場での接種を終了し、日中、仕事をしている働く世代の方が、ワクチン接種を受けやすくなるために、8月より、「吉野川市役所東館」および「山川地域総合

センター」において、夜間の時間帯を含めた接種を開始しました。

今後の接種見通しは、国から示されている供給量が、コンスタントに今後も継続的に市に供給されれば、11月上旬ごろには、希望する市民の皆さんへの2回の接種が終了する見込みです。

コロナ禍における各種イベントの開催状況

「鴨島大菊人形・四国菊花品評会」は、感染症予防対策に十分留意し、10月中旬から11月中旬の開催を予定しています。

吉野川市文化祭は、参加者や来場者の分散化を図り、新たに「吉野川市芸術祭」として、「総合美術展」「芸能祭」「合同茶華道展」を実施することとしました。

今後の財政見直し

第20回吉野川市リバーサイドハイマラソンと美郷一周駅伝は、次年度に延期することになりました。なお、秋以降に開催される「美郷梅酒まつり」などの恒例イベントの実施については、各実行委員会が決定次第、市ホームページや広報よしのがわでお知らせします。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業

●スーパープレミアム付商品券事業について
市内の地域経済の活性化を図ることを目的として、スーパープレミアム付商品券を3億円発行しました。

商品券は好評で、約37000冊の申し込みがあったため抽選をし、原則1人1冊は当選とし、商品券が広く市民の皆さんに行き渡るよう配慮しました。

●吉野川市夢紡ぐふるさと便事業

外出や帰省の自粛などの影響を受けている本市出身で県外に居住する学生を応援するため、本市の特産品をお送りすることとしました。先週末現在、167人からの申請をいただいています。

子育て・教育の満足度向上

●子育て支援センター「ちびっこラザ」の日曜日開館

市民プラザ4階に開設している、子育て支援センター「ちびっこラザ」は、来年度より日曜日の開館を実施します。

運営業務は、ノウハウのある専門業者に委託する予定とし、公募を行い、優れた事業提案をいただいた業者を選定していきます。

●子育て世代包括支援センターの運営状況

本センターの開設により、妊娠届出の機会に保健師が直接面接を行うことで、産前から産後にかけての支援に切れ目なく移行できることとなりました。利用者の皆さんからは、「育児相談や子どもの体重や身長測定ができるので安心」、「ゆつくり時間をかけて相談できるのでありがたい」といった声をいただいています。

●ライフスポーツ財団「子ども活動支援補助金（コロナ禍特別補助金）」

公益財団法人ライフスポーツ財団は、子どもと親のスポーツ活動普及のため、地域のスポーツ団体など

「予算を使う前に知恵を使う」の徹底や昨年度（令和2年度）と同水準の一般財源が確保できる規模の普通交付税が算定されたことなどにより、本年度の基金減少額は、令和2年度の3億円を下回る見込みとなります。

前澤友作氏寄付金を活用した観光整備事業

ファッション通販「ZOZO」創業者で実業家の前澤友作氏から昨年度いただいた寄付金を財源とし、高越山などへの観光整備事業を実施することとしました。

今後は、JRを活用した観光客の高越山への誘導だけではなく、美郷地区を含めた本市西部地域における観光整備の一助となるよう努めます。

への助成活動を行っている団体で、本市では、この特別補助金を活用して、「鴨島呉郷保育所」に鉄棒などを、「高越こども園」にネット太鼓橋などを購入する計画としています。

●元気なあわっ子！生活習慣見直し事業

本市は、平成31年3月に吉野川市教育振興計画を策定し、5つの教育目標に沿ってさまざまな事業を進めています。そのひとつに「運動の習慣化や望ましい生活習慣の育成を図ること」があり、本年度は、牛島小学校において、県教育委員会の「学校保健総合支援事業（元気なあわっ子！生活習慣見直し事業）」を実施することとしました。

●子どもはぐくみ医療費助成制度の拡大

子育て支援策の一環として、本年10月1日から子どもはぐくみ医療費の助成対象をこれまでの「中学校修了まで」から、「18歳到達の年度末まで」に拡大します。



社会的課題解決のために発行される債券であるソーシャルボンドへの投資

持続可能な開発目標であるSDGsの達成に向けた取り組みとして、独立行政法人国際協力機構であるJICA（ジャイカ）が発行するJICA債へ、財政調整基金から1億円分の投資を実施しました。

大塚製薬株式会社との連携協定の締結

7月15日、大塚製薬株式会社と包括連携協定を締結しました。これまでも、吉野川市リバーサイドハイマラソンをはじめ、本市のスポーツ振興に協力をいただいているところですが、本協定のもと、熱中症対策、防災などの分野においても相互に連携協力し、市民の健康増進やサービス向上に努めていきます。

徳島県サッカー協会からの寄贈

7月30日、吉野川市多目的グラウンドにスコアボードを寄贈いただきました。今後、さまざまな大会などで活用でき、サッカー競技の発展や



寄贈いただいた時計付きスコアボード

吉野川市立幼保連携型認定こども園の公私連携法人候補者の決定

令和5年4月より、市立川島こども園を直営から、市が運営などに関する公私連携幼保連携型認定こども園へ移行することから、8月20日に選考委員会による応募法人のプレゼンテーションとヒアリングを実施し、「社会福祉法人かもめ福祉会」を公私連携法人候補者として決定しました。